

### 第3学年 国語科学習指導案

日時 平成20年 9月25日(木) 5校時

児童 男子12名 女子14名 計26名

指導者 尾形 一

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう  
教材名 すがたをかえる大豆(説明的文章)  
食べ物がかせになろう/本で調べる

#### 2 単元について

第3学年及び第4学年の「読むこと」領域の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。本単元では、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」(イ)を主たる目標としている。

本教材は、身の回りにあふれている大豆加工食品と大豆について書かれた、解説型の説明文である。児童もよく知る大豆について、「手を加えた食品を知らず知らずのうちに食べている」意外性のある話題を提供し、新たに知る喜びを与えられる教材である。また、段落の多くは、先頭の文が中心文になる、いわゆる頭括式の文章構成である。そのうえ「大豆のすがたの変わり方」が理解しやすい例からしにくい例の順に説明されていることなども特徴的であり、段落の相互関係の学習を行う上で適した教材であると考えられる。

児童は、「ありの行列」の学習で文章の大枠を把握するために、文章全体の「問い」と「答え」に着目し、「答え」に至る観察、実験、仮説・推論の過程をたどりながら、段落毎に内容を短くまとめたり、段落毎の関連を読み取る学習を行った。

説明的文章の読み取りについては、「ありの行列」の学習を通して、文の語尾や接続語に気をつけ、大事な部分を落とさずに読み取りができるようになったり、自分なりに根拠をもって発言する児童が増えてきたりしている。しかしながら、まだ段落の内容を正確に読み取ることのできない児童、文の主述関係を理解できず、十分な読み取りのできていない児童も数名いる。

また、児童の国語科に対する意識を見ると、読書や音読・漢字学習に対する関心は高いのだが、国語の授業そのものを楽しんでいると答えた児童は少なく、音読や読み取りの能力についても、未だ十分とはいえない。

指導にあたっては、本文を一読した後、児童の感想をもとにして学習計画を立てる。その後、「大豆、どのように手を加えられ、どんな形に姿を変えるか」という文の読み取りと、筆者が読者に伝えるための工夫(児童には「文しょうのひみつ」(以下「ひみつ」)としていく)に気付かせる2つの学習を行っていく。文の読み取りでは、段落毎に中心文を抜き出し、内容を整理しながら読み取らせていくと共に、接続語や文末表現・段落内の文の並び順など、段落毎に見られる「ひみつ」に気付かせ、児童に「ひみつ」に興味を持たせるようにしていきたい。本時では、「ひみつ」に重点を置いた学習を行う。3～7段落の読み取りで使用したプリントを活用し、大豆のすがたや工夫の記述に着目させながら、「豆の変わり方が見えやすい」「説明の短い順から」段落が配列されていること、それらが児童にわかりやすい順であることに気付かせたい。授業の後半では、本教材と異なる説明文を用い段落の順番を並べ替える作業を行い、本時で学習した内容を理解しているか確認し、「食べ物博士になろう」での書くことの指導につなげていく。「食べ物はかせになろう/本で調べる」では、調べることを決める・本を探す・調べたい事柄を選び、書きだす・文章にまとめる、の4ステップで学習する。この学習は、情報活用の基礎となる力を育成する活動なので、丁寧に指導を行う。また、読書への橋渡しとして、授業の導入や読み取りのときに関連図書を紹介したり、関連図書や参考文献を教室内に用意し、興味を持って読書活動に取り組めるようにしていきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への意欲・関心・態度

- ・大豆の姿の変わり方について、関心を持って読み取ろうとする。
- ・自分の立てたテーマに沿って、調べたり書いたりしようとする。

#### (2) 読むこと

- ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読む イ)
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる(読む オ)

#### (3) 書くこと

- ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。(書く イ)
- ・書こうとすることの中心を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して書くことができる。(書く エ)

#### (4) 言語事項

- ・指示語や接続語に気を付けながら、文と文との意味のつながりを読み取ることができる。(言語 オ(ウ))
- ・表現したり理解したりするために必要な語句を、辞書を利用して調べることができる。(言語 オ(イ))

### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆の秘密について関心をもち、読み取ろうとしている。</li> <li>・自分の課題をもち、さまざまな本を活用して、食べ物の秘密を調べ、まとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落ごとの文の構成や、段落前後の関係を読み取り、「はじめ・中・終わり」の大きなまとまりを意識して、内容を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を探して調べ、読み取った内容を書き出すなどして、必要な材料を集めている。</li> <li>・調べた内容を事柄ごとに段落に分けて書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語や接続語に注意して、段落や文のつながりを明確にとらえながら読んでいる。</li> <li>・わからない言葉を、国語辞典などで調べている。</li> </ul>

### 5 単元の指導計画 (19時間 読7時間 書12時間)

段階	時数	主な学習内容	評価規準と評価方法
第一次 見通す	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名をもとに、大豆を使った食品について知っていることを発表する。</li> <li>・「すがたを変える大豆」を読み、初発の感想を書き、学習の見通しを持つ。</li> </ul>	関 教材文を通読し、初発の感想をもとに話し合い、学習のめあてを持つようとしている。 (発表・観察) 読 初めて知ったことや驚いたこと、疑問に思ったことをノートに書いている。(ノート)
第二次 たてる	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」に段落番号を振り、全体・段落ごとに何について書かれてあるかを簡単にとらえる。</li> <li>・「問い」「答え」の文を探させ、「ありの行列」とは異なるタイプの説明文であることに気付く。</li> <li>・わからない言葉の意味を調べる。</li> </ul>	関 段落について理解し、学習の見通しをもとうとしている。(発表) 読 段落ごとに書かれてあることを簡単に読み取っている。(発言・観察)
第三次 深める	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の提示した話題について読み取る。</li> <li>・第1・2段落を音読し、提示されている話題について話し合う。</li> <li>・導入の仕方や問いかけなど、読み手が理解しやすくなるように、著者がこの文で工夫していることに気付かせる。</li> </ul>	関 筆者の提示した話題を詳しく読み取ろうとしている。(挙手・発言) 読 大豆と工夫の必要性について読み取っている。 (発表・ワークシート) 1・2段落の伝えるための工夫が分かる。 (発表・ワークシート)
	4・5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆をおいしく食べる工夫について読み取る。</li> <li>3・4段落を読み取る。</li> <li>5・6・7段落を読み取る。</li> </ul>	関 大豆をおいしく食べる工夫について、正しく読み取ろうとしている。(発言・ワークシート) 読 大豆をおいしく食べる工夫について、それぞれの段落を読み、正しく読み取っている。 (発言・ワークシート)

	6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～7段落の読みをもとに、5つの段落のつながりを考え、筆者の書き方の工夫に気づく。</li> </ul>	<p>読 段落を比較しながら、大豆が姿を変えることを分かりやすく伝えるための筆者の述べ方について考えている。(発言・ワークシート)</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結論を読み取る。</li> <li>・8・9段落を読み取る。</li> <li>・それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。</li> </ul>	<p>関 結論を正しく読み取り、文章全体の構成を考えようとしている。(発言・ワークシート)</p> <p>読 結論を正しく読み取っている。(発言・ワークシート)</p> <p>読 段落構成を読み取り、大きなまとまりを理解している。(発言・ワークシート)</p>
第四次 ひろげる	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べ物はかせになろう」を読み、学習の見通しを持つ。</li> <li>・調べたい食べ物を決めて、学習計画を立てる。</li> </ul>	<p>関 自分で調べたい食べ物について、進んで決めようとしている。(発言・ワークシート)</p> <p>読 単元のねらいに沿って、自分の調べたい食べ物を決めている。(観察・ワークシート)</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ方を学ぶ。</li> <li>・「本で調べる」を読み、本の探し方や目次・索引の活用の仕方を確かめる</li> </ul>	<p>関 本の探し方や目次・索引の活用の仕方を理解しようとしている。(挙手・態度)</p> <p>書 題名に着目して、本を探したり、目次や索引を検索して、必要な情報を探したりする方法を理解している。(発表・ワークシート)</p>
第五次 まとめる	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめかたを学ぶ</li> <li>・調べた事柄の整理の仕方や、文章にまとめる方法を確かめる。</li> </ul>	<p>関 調べた方法の整理の仕方や、文章へのまとめ方を理解しようとしている。(挙手・態度)</p> <p>書 調べたことを取材カードに書くことや、その中から情報の取捨選択をして文章にまとめることを理解している。(発表・態度)</p>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べることを決める。</li> <li>・調べたい食べ物について知りたいことや疑問に思うことを書きだす。</li> </ul>	<p>関 調べたい食べ物について、知りたい事や疑問に思うことをもとに、進んで課題を作ろうとしている。(発表・ワークシート)</p> <p>書 調べたい食べ物について、知りたい事や疑問に思うことをもとに、書き出している (ワークシート)</p>
	12 ・ 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べるための本を探し、その中から調べたいことを選び出し、分かったことを取材カードに書く。</li> </ul>	<p>関 目的にあった本を探し、調べたい事柄を選び出し、取材カードに書こうとしている。 (態度・取材カード)</p> <p>書 目的に合った本を探し、調べたい事柄を選び、わかったことを取材カードに書き出している。 (取材カード)</p>
	14 ・ 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材カードを整理する。</li> <li>・それぞれのカードのまとめりごとに文章を書く。</li> <li>・清書する。</li> </ul>	<p>関 情報を関連付けてまとめ、まとめりごとに文章を書こうとしている。(態度・文章)</p> <p>書 取材カードを整理し、段落の関係をわかりやすくしながら、文章を書いている。(文章)</p>
	18 ・ 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章をまとめ、本を作る。</li> <li>・友達と本を読み合い、よく書けているところを互いに評価し合う</li> </ul>	<p>関 友達の調べた食べ物の秘密について読むことで、友達の文章のよさを見つけようとしている。 (発表・相互評価カード)</p> <p>書 友達の文章を読み、よさに気づき感想を書いている。(発表・相互評価カード)</p>

6 本時の指導

(1) 目標

3～7段落の読み取りをもとに、5つの段落のつながりを考え、筆者の書き方の工夫に気づくことができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	教師の働きかけと予想される反応	個への支援と評価の観点（方法） ・留意点
つかむ5分	<p>1. 前時の学習を想起する。</p> <p>2. 本時の学習課題を捉える。</p>	<p>1. 前時までの学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～7段落のふりかえり（くふう・すがた・手の加え方を類型化した表）。</li> <li>・ 段落の始めが中心文だ。</li> <li>・ 段落の始めに、つなぎ言葉がある。</li> </ul> <p>2. 学習課題を提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで学習してきた「文しょうのひみつ」を想起し、本時の課題につなげていく。</li> </ul> <p>評 学習課題を把握しているか。 (観察・発言)</p>
<p>3～7段落の、「国分さんの文しょうのひみつ」をさがそう。</p>			
考える25分	<p>3. 本時の学習場面を音読する。 (第3～7段落)</p> <p>4. 筆者の説明の工夫を考える。</p> <p>① 一人学び</p> <p>② 学び合い</p> <p>○手の加え方を段落毎に比べた時に、気づいたことはありますか。</p> <p>○変わった後の姿から、気づいたことはありますか。</p>	<p>3. 読みの視点を与え、学習場面を指名読みさせる。</p> <p>4. ① 3～7段落の読み取りの際に使ったプリントを見ながら、筆者の説明の工夫を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わかりやすい「くふう」から書かれている。</li> <li>・ 「大豆のすがた」が、だんだん細かくなってきている。</li> </ul> <p>② 一人学びで考えたことを発表し合い、その後全体で話し合いながら、次の内容をとらえさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3段落は、説明が短くわかりやすい。</li> <li>・ 5段落は説明が長くわかりにくい。</li> <li>・ 後の段落は、言葉の意味が分かりにくい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～4段落は手の加え方が目にもすることも多く、分かりやすい。</li> <li>・ 6段落は生物の力をかりたのが目に見えないし、目にもすることがほとんどないので分かりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～7段落の読み取りの際に使った表（プリント）を活用する。</li> </ul> <p>支 説明の工夫を見つけられない児童には、「大豆のすがた」・挿絵の写真・説明の長さに着目するよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発言や学びあいで気づいた点を、掲示されている表の中に書き加えていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉の意味が段落を追うごとに分かりにくくなっていることに気づかせるため、分かりにくい言葉を、ペンなどを使い囲ませたい。</li> <li>・ 児童が気付かない場合には、挿絵の写真を使って比較させ、その状態を表す文章を探していく。</li> <li>・ 7段落は3～6段落とは異なり、収穫する前の工夫であるため、後になっていることに気付かせる。</li> </ul>

ふかめる 10分	○3と4の段落だと4段落のほうが短いですが、この順番になっているのはなぜでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4段落のきなこの説明は、「いる」ことを説明した後でなければ分かりにくい。</li> <li>「いってひく」より「いる」のほうが簡単。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3・4段落を並べ替えた場合を想定した発問を提示し、4・5段落が3段落の「くふう」にさらに手を加えていることに気付かせ、この順番ではなければならないことをとらえさせる。</li> <li>説明文を並べ替えしやすいよう、付箋を利用したワークシートを用意する。</li> <li>自分の考えをより確かなものにするために、ペアで発表し合う時間を設ける。</li> </ul>
	5. 本単元以外の説明文の段落を、内容のわかりやすい順に並べ替える。	5. 本単元とはまた別の解説型の説明文（「じどう車くらべ」抜粋）を用意し、並べ替えさせる。	
<p>具体的評価規準</p> <p>A：段落に書かれている内容に着目して相互に比較し、正しく並べ替え、その理由を説明できる。</p> <p>B：段落に書かれている内容に着目して相互に比較したり、並べ替えている。</p> <p>Cへの支援：それぞれの段落で話題の中心になっているもの（バス・トラック・クレーン車）に着目し、並べ替えるよう促す。</p>			
まとめ 5分	6 本時の学習のまとめをする。	6 今日の学習から分かったことをまとめ、自己評価する。	評 今日の授業について、自己評価させる。
	7 次時の学習内容を確認する。	7 8・9段落の読み取りを行うことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の感想を発表させる。</li> </ul>

8 板書計画

① つなぎ言葉を使っている

② だん落のはじめの文が中心文

あとこの文はくわしいせつめい というつくり

③ 分かりやすいくふうからじめゆん番に、だん落がならんでいる。短いせつ明から

豆の変わり方が見えやすい

⑦とり入れる時期	えだ豆	もやし	大豆	大豆	大豆	大豆
育て方のくふう	えだ豆	もやし	大豆	大豆	大豆	大豆
⑥目に見えない小さな生物の力をかりる	みそやしょうゆ	なつとう	大豆	大豆	大豆	大豆
⑤大切なえいようを取り出す	とうふ	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆
④こなにひいて食べる	きなこ	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆
③いったり	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆
②にたりする	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆
①くふう	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆

すがたをかえる大豆 国分牧衛

③⑦だん落の、「文しようのひみつ」をさぐる。

長い時間がかかる

目に見えない

説明が長い

説明が短い

分かりにくい

分かる

とる前のくふう あまり見えない

とった後のくふう 目にするのが多い

まとめ 国分さんのせつめいのひみつ

終わり		中					始め		構成
筆者の感想	多くの食べ方が考えられた理由	5つのくふう					大豆について	ほとんど毎日口にしてしている大豆	構成の要素
⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえ (筆者は)おどろかされます(皆さんはどう思いますか。)	大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえ 味もよい たくさんのおいようをふくんできているから やせた土地にも強い 育てやすい (でも、そのままでは食べにくい②) 多くの地いきでうえられた	とり入れる時期や育て方を工夫し(ておいしく食べる)えだ豆・もやし	小さな生物の力をかりて、ちがう食品にして(おいしく食べる)くふう。 なつとう・みそ・しょうゆ	大切なえいようをとり出し、ちがう食品にして、おいしく食べるくふう とうふ	こなにひいて(おいしく)食べるくふう きなこ	豆まきを使う豆・に豆・黒豆	その形のまま、いっぴりたりしてやわらかく、おいしくするくふう。 大豆IIダイズという植物のたね そのままでは食べにくい 消化もよくない そのため おいしく食べる工夫をしている	米・麦 と 大豆 共通点 多くの人がほとんど毎日口にしてしている。 違う点 大豆は、毎日口にしてしていることが意外と知られていない (なぜなら) 大豆はいろいろな食品にすがたを変えて いるから。	構成の要素
取り入れてきた ちえ	このように …のは、…からです。 ふくんできている やせた土地 そのうえ、…ためでもあります。	これらのほかに…もあります ゆでて	さらに…くふうもあります。 大切なえいようだけをとり出す ナットウキン むした コウジカビ まぜ合わせる	また…くふうもあります。 すりつぶす しぼり出す かためる ニガリ とろろ	次に、…くふうがあります。 いって(する) こなにひいた(ひく)	いっぴり(いる)にたり(する) す。	大豆 さや ダイズ そのため…しています。	なんだか分かりますか それは、大豆です。 意外と 知られていない すがた かえている 気づかれない	中心語句・重要語句

要旨

大豆は多くの人がほとんど毎日口にしてしているが、米や麦とは異なり、いろいろな食品に姿を変えているため、なかなか気付かれない。大豆はかたく、そのまま食べにくく、消化にもよくないため、いろいろ手をくわえて、おいしく食べる工夫をしている。ここでは「いる」「にる」「こなにひく」「大切なえいようだけを取り出す」「目に見えない小さな生物の力をかりる」「取り入れる時期を工夫する」「育てる工夫をする」「工夫を紹介している」も強く育てやすいため、多くの地域で植えられている。大豆の良いところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされる。